

令和6年度 第1回太田市公共工事入札等監視委員会 委員コメント

○大谷委員長

太田市公共工事については入札契約規則に基づき概ね良好に入札が進んでいるものと思います。公共工事の経済効果を地元企業を通じ市民に反映させる政策の趣旨からも良い推移で進んでいます。くじ引き制度や最低入札金額公開についても良い仕組みで進んでいます。

今後はますます厳しく取り扱いをお願いし、他市であった談合や秘密漏洩の無いよう法令順守をお願いします。

○大島副委員長

今回の委員会においては、令和5年度の入札・契約状況についての報告を受けました。令和5年度は、各学校の給食室やエアコン設置工事等の競争入札があったため、令和4年度より契約件数が増加したこと、令和4年度は太田市清掃センターの解体撤去工事や太田西複合拠点公共施設建設工事といった大きな入札案件があったため、全体の請負金額が令和4年度に比べて減少したこと等、詳細に説明していただきました。

続いて、不調に終わった太田市役所本庁舎消火設備改修工事についての説明を受けました。特殊な工事においては、市内業者を優先しようとしても入札が思うように進まないという発注側の難しさを感じました。

特に興味深かったことは、週休2日制現場の試行についてです。現場での週休2日制が進むと受注者側では作業員の収入確保、発注者側では工期の延長、予算の増加といった問題があり、今後の入札件数や請負金額に影響を及ぼすと思われます。今回の委員会においては、公正、公平、そして透明性が確保された入札制度を維持されていることはもちろんのこと、国の方針に基づいた新たな取り組みがなされていることを知りました。

○湯澤委員

令和6年度 入札契約制度等並びに、入札・契約状況・内容審査や令和5年度 下半期入札契約の内容審査について説明・報告を受け、適正であると思いました。今回は新委員が加わり、太田市の入札契約制度等について説明があり、改めて制度の基本方針を理解することができました。全社入札辞退やくじ引きの状況説明に対する質疑への回答・解説が、しっかりできていると感じました。

また、週休2日制現場の試行実施の目的や方針なども分かりやすく、解説していただきました。課題はあるものの、双方にとって有益になるよう期待したい。

引き続き、公正公平と競争性を確保しながら、適切な入札業務を推進していただきたいと思います。

○中村委員

新しい年度に入ったので、入札制度の基本方針や変更点について改めて確認したり、令和5年度下半期の入札・契約状況についての説明を受けました。引き続き、市内の業者を優先に公平公正な制度の確保をお願いしたいと思います。

国が推奨する「建築業における週休二日制の定着」に向けて、太田市も受注業者にむけて発注の形を変更しました。現場の声や社会の動向を踏まえながら、積極的に取り組まれることを希望します。委員や事務局メンバーの交代がありました。蓄積されてきた知識に新しい風を取り入れることで、委員会においては、より活発で有効な意見がお聞き出来ると思います。今後も太田市の適正な入札業務をお願いいたします。

○松本委員

公共工事は、市民生活の直接結びつく公共施設の整備事業です。そのため公共事業は、入札制度と直接かかわるため、適正で効率的な公共工事の執行は市民の信頼と建設業の健全な発展を図ることにつながります。

令和6年度の入札制度は、受注業者の働きやすい職場環境づくりを行っていくための施策として週休二日制現場の施行拡大と建設工事の等級格付けにおける主観的項目の見直しが行われました。

道路改良工事で発注者指定型にて本制度の試行されましたが、建設業を取り巻く環境改善にこの制度の活用が期待されます。

その他、昨今の建設業を取り巻く環境や地域経済状況対応した入札制度になるよう制度改革が行われていることを確認しました。今後も適正な入札競争と、適正な工事執行が行われるよう、入札契約事務が行われることを期待します。